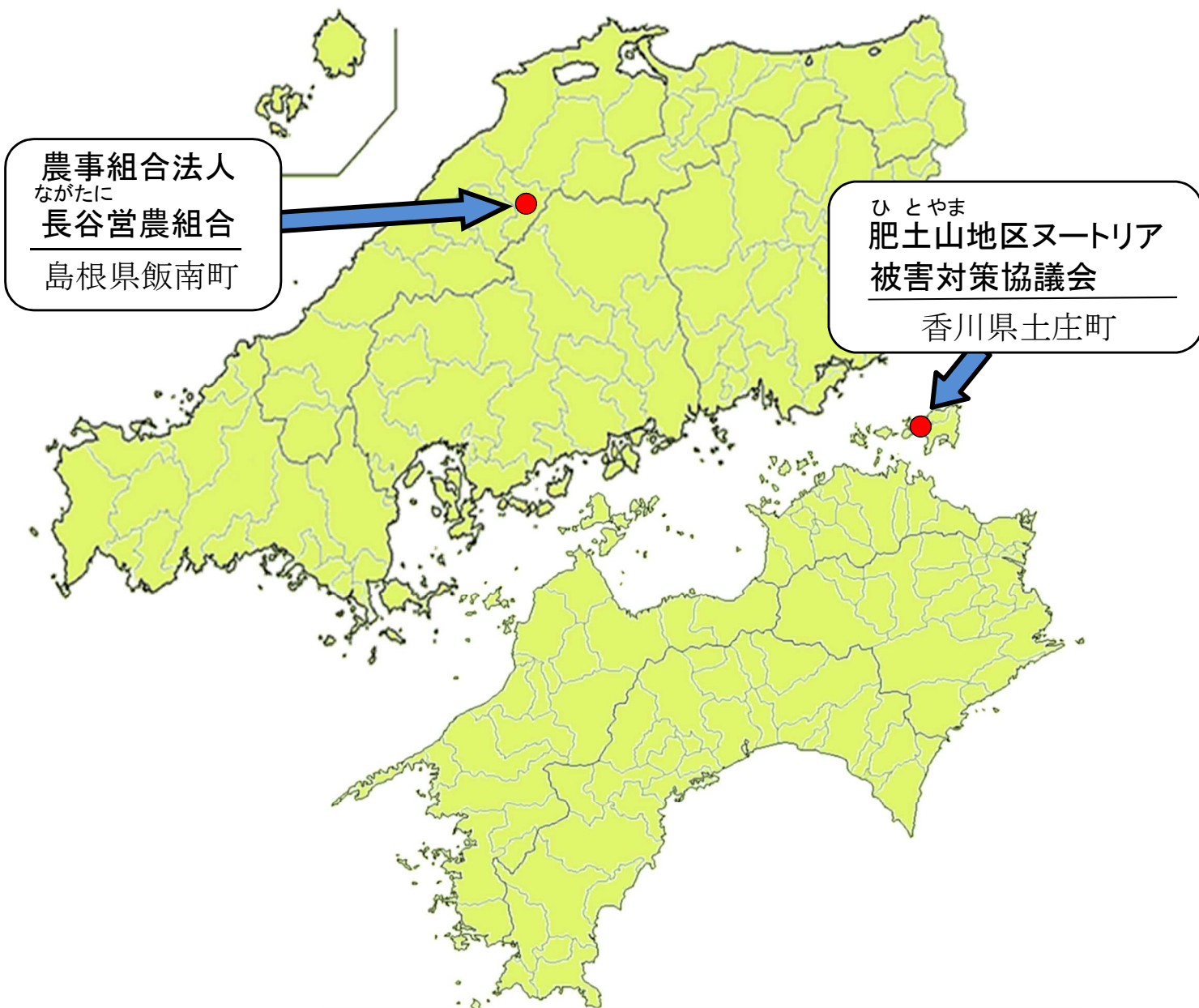


平成30年度

中国四国地域鳥獣被害対策優良活動表彰
候補団体の活動概要



中国四国農政局
農林水産省

ながたに
・農事組合法人 長谷営農組合（島根県飯南町）

各々で管理していた電気柵を営農組合で一括管理、適切な方法による電気柵の設置や維持管理体制を整備し、被害防止対策を継続して実施することで被害の発生を防止。捕獲したイノシシに発信器を取り付け、行動パターンを把握し、出没しにくい環境づくりを目指している。

【活動の動機・発展過程】

- 当初、イノシシによる水稲被害対策としてワイヤーメッシュ柵及び電気柵を設置したが、各々独自のやり方で設置され、設置する高さや電圧の設定などに大きな差があったことから、電気柵を設置したにもかかわらず被害が発生していた。
そのため、柵の設置だけでは根本的な被害対策にはならないということで、各々で管理していた電気柵を、営農組合での一括管理とし、適切な方法による設置の実施や維持管理体制を整備することとした。

電気柵等設置延長	営農組合作付け面積
電気柵：約20km（2段）、ワイヤーメッシュ柵：約5km	水稲：18.3ha、WCS稲：2.5ha、大豆：2.1ha

【活動の内容】

- 平成28年度から、適切な電気柵の設置方法を学んだ後、継続して電気柵の適切な設置及び維持管理方法について実地研修を実施しそれを実践するとともに、収穫後の対策検討会において、その年の被害状況を被害マップで確認、被害対策を評価し、翌年度に向けた対策を検討している。
- 被害が出た箇所は電気柵の電圧が低かったことから、稼働状況の調査を行い、目標数値を設定し、適正な電圧の設定や電気柵設置後の通電等の情報共有を徹底。

【活動の成果】

- 電気柵を営農組合が一括管理し、適切な方法による設置と維持管理を徹底することで、平成28年度から2カ年被害は発生していない。

項目 \ 年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
農業共済上の被害金額(万円)	55	125	0	0
農業共済上の被害面積(a)	87	221	0	0

- 電気柵の実地研修、対策検討会を毎年行うことにより、設置技術の向上及び維持にも繋がり組合員の鳥獣対策に対する意識が向上。
- 隣接地区の営農組織から電気柵の研修講師を依頼され、その活動が実践され被害防止の成果をあげるなど波及効果も出てきており、被害対策の技術普及に貢献。

【今後の活動方向】

- 発信器を付けたイノシシの夏季における行動パターンから、地区内で頻繁に出没している状況が把握できたことから、調査結果を活用して出没しにくい環境づくりを目指すとともに、周辺の営農組織と情報の共有を図り、適切な方法による電気柵の設置及び適正な電圧の設定の徹底など維持管理に係る被害対策も含め、広域で連携して実施することを目指す。



鳥獣専門指導員による研修



電気柵の実地研修会



対策検討会

ひとやま

・肥土山地区ヌートリア被害対策協議会（香川県土庄町）

自治会が中心となり協議会を設置し、自治会活動の一環として被害防止対策に取り組んでいる。主な被害対策として、継続した「捕獲」と「生息環境管理」を実施し、「獣害に強い地域づくり」を推進することで被害の発生を防止。

【活動の動機・発展過程】

- 平成23年5月、肥土山地区の伝法川沿いの水田において、ヌートリアによるイネの食害を確認。被害の拡大を危惧し、香川県、土庄町協力の下、自治会が中心となり、地域住民の合意形成を行い、同年8月8日協議会を設立。

【活動の内容】

- 特定外来生物であるヌートリアの防除対策について講習会を開催し、専門家から正しい知識に基づく被害防除対策を学習。併せて「獣害に強い地域づくり」も行うこととし、稲作農家を中心とした地域住民の多くに県主催のアライグマ・ヌートリア防除従事者養成講習会を受講させ防除従事者を養成し、箱わなによる捕獲を継続して実施。
- 地域を10のエリアに分割し、それぞれのエリアで防除従事者を中心とした捕獲隊を組織し、ヌートリアが生息していると思われる河川や水路、ため池、耕作放棄地で雑草木の刈払いを実施。生息が確認されている河川とその支流では、地域活動の一環として、毎年冬季に川底のアシ等の草木を除去を行い、ヌートリアの生息環境管理を積極的に実施。
- 取組活動とその結果については、地域の広報誌により情報共有を図っている。

【活動の成果】

- 平成23年から捕獲と生息環境管理（草刈り等）を地域ぐるみで徹底して行った結果、肥土山地区でのヌートリアによる被害金額は、平成27年度以降0となっている。
- 自治会活動の一環として取組んでいる活動の優良事例として事例発表の依頼や他県からの現地視察も受け入れている。
- 近隣の地区においても肥土山地区の活動を参考として被害対策が実施されており、他の地域にも活動の成果が波及している。
- ニホンジカ、ニホンザル、イノシシの被害防除対策についても、これまで協議会が実施してきた地域ぐるみの活動を母体とすることで、対策組織を即座に立ち上げることができ、円滑な対策の実施に役立っている。



ヌートリア対策講習会



地域ぐるみによる生息環境管理



捕獲されたヌートリア